

記事を読んで、問いに答えなさい。  
解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

2021年 2月2日朝刊中部版

## コロナ下の節分「終息」願う

静岡市葵区の静岡浅間神社で2日、市の無形民俗文化財に指定されている節分祭が行われた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年行う御年役（おんとしやく）による豆まきは中止し、神職やみこによる「追儺（ついな）神事」を執り行った。大拝殿に桜井豊彦宮司（74）ら神職15人が上がり、おほらいや祝詞を唱えた。桜井宮司による「追儺の式を始めよ」の合図に合わせて神職が鈴やかね、太鼓を打ち鳴らし、みこらがネコヤナギと梅の若枝を結って作った「おにやらぼう」で板をたたいて大きな音を出して厄や鬼を追い払った。

最後に桜井宮司が大拝殿の四方に豆をまき、新型コロナウイルス禍の「終息」や無病息災などを祈願した。（写真部・宮崎隆男）

### 静岡浅間神社

①無形民俗文化財の指定は文化財保護法によるが、この法律は議員立法にて成立した。議員立法が政府立法に比べて少ない理由を考察せよ。

## 「おにやらぼう」で厄払い



おにやらぼうで板をたたき（左奥）、太鼓や鈴を打ち鳴らす神職ら  
＝静岡市葵区の静岡浅間神社

②自分の氏神様の追儺神事を調べ、静岡浅間神社のものと差異を確認し、その違いが生じた理由を考察せよ。

③科学的根拠がないとされる「厄」を払う意識が、古代より現代まで続いている有意性を考察せよ。

## 年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 実石克巳（静岡高校 教諭）

（高校／国語）

<参考>①＝法学、政治学に関する問題、②＝日本史学、民俗学、宗教学に関する問題、③日本史学、民俗学、宗教学に関する問題